

令和4年度宇都宮大学大学院 入学料免除・徴収猶予申請要項 (秋入学者用)

注意事項

1. この要項をよく読み、申請に必要な書類を揃えて、受付期間内（入学手続期間）に提出してください。受付期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受け付けません。やむを得ず不足の書類がある場合は、様式10-2裏面に記入し、遅くとも10/7(金)までに提出してください。書類が揃わないことについて連絡がない場合、選考から外れます。
2. 提出書類に不備がある場合には、申請を受け付けられないことがあります。また、提出書類の記入内容が故意に事実と相違している場合は、免除申請を取り消すとともに、以後一切の入学料・授業料の免除（徴収猶予含む）申請ができなくなります。
3. 提出する書類は全て、マイナンバー（個人番号）が記載されていないものをご用意ください。
4. 選考過程で必要と判断された場合、「申請受付票」に掲載されていない書類の提出をお願いすることがあります。
5. 提出された書類は返却できません。
6. 選考結果が決定されるまでの間、入学料の納付が猶予されます。一旦納付された入学料は返還できませんので、選考結果が出る前に納付しないよう注意してください。
7. 申請内容の確認等のため、担当係から連絡することがありますので、必ず電話に出るようにしてください。不在着信があった場合は、速やかに折り返しの連絡をお願いします。（不明な点が解消されなければ、選考から外れる場合があります。）

学務部学生支援課 電話番号 028-649-5102

学務部陽東学務課 電話番号 028-689-6024



入学料免除・徴収猶予申請について

1. 入学料免除・徴収猶予

(1) 対象者

●東日本大震災等により被害を受けた者

- ・主たる家計支持者（原則として父母。父母がいないときは、これに代わって家計を支える者のうち所得金額の最も多い人。以下「家計支持者」と言います。）が、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、平成30年7月豪雨、令和元年度房総半島台風（台風15号）、令和元年度東日本台風（台風19号）、令和2年7月豪雨（以下「東日本大震災等」と言います。）により、以下の被害を受けた場合

ア 家計支持者の居住する家屋について、東日本大震災等により、市町村から次のいずれかの「罹災証明書」を交付される者

- (ア) 全壊
- (イ) 大規模半壊
- (ウ) 半壊

イ 家計支持者が、東日本大震災等時において、原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）に基づき定められた次のいずれかの区域に居住していた者。

- (ア) 警戒区域
- (イ) 計画的避難区域
- (ウ) 緊急時避難準備区域

- ・家計支持者が、東日本大震災等により死亡または行方不明となった者

●経済的理由がある者

- ・経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者

●特別な事情がある者

- ・入学前1年以内において、学生の学資負担者（申請者の学資を主として負担している方）が死亡し、または学生もしくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者

ただし、退職金、生命保険金等の受給があり、納付が著しく困難と認められない場合は、免除の対象とならないことがあります。

- ・上記に準ずる場合であって、学長が特に必要と認める事由がある者

◎免除の対象とならない者

- ・科目等履修生、研究生、特別聴講学生、国費外国人留学生、外国政府派遣留学生
- ・県教委派遣の教職大学院生

2. 選考と結果通知について

特別な事情や家計の状況等を勘案し、予算の範囲内で免除額を決定します。

選考結果が出るまでの間、入学料の納付が猶予されます。

選考結果は、11月下旬に、郵送でお知らせします。

選考結果が、全額免除以外の場合は、その告知をされた日から14日以内に、送付された振込依頼書により所定の額を納付していただきます。ただし、徴収猶予が許可となった場合は、1月31日まで（土日祝日にあたる場合はその前の平日まで）入学料の納付が猶予されます。

期日までに納付がない場合、宇都宮大学大学院学則第48条の規定により除籍となります。

3. 申請方法

申請に必要な書類（「申請受付票」参照）を揃え、入学手続き期間内に、入学手続き関係書類に同封して提出してください。期間を過ぎての相談、申請は一切受け付けません。

申請をする場合は、入学手続き時に入学料を納付しないようにしてください。一旦納付された入学料は返還できません。

4. 申請に必要な書類

【私費外国人留学生以外の学生】

- ①申請受付票（様式 10-1）
- ②入学料免除願・入学料徴収猶予願（様式 10-2）
- ③家庭状況調書（様式 10-3）
- ④世帯全員分の「住民票謄本」3か月以内に発行されたもの
- ⑤市区町村発行の「所得証明書」（発行できる最新年のもの）3か月以内に発行されたもの
- ⑥92円分の切手（選考結果の送付を希望する住所/宛名(様を付けておく) /学部(研究科) /学籍番号を長3封筒に記入する。）
- ⑦「指導教員推薦調書」（様式 10-4）
- ⑧源泉徴収票、確定申告書や離職者、転職者がいる場合に必要となる書類等「申請受付票」の各項目に該当する場合の書類

【私費外国人留学生】

- ①申請受付票（様式 10-1）
- ②入学料免除願・入学料徴収猶予願（様式 10-2）
- ③家庭状況調書（様式 10-3）
- ④「指導教員推薦調書」（様式 10-4）
- ⑤「経済・生活状況申告書」（様式 10-10）
- ⑥市区町村発行の「所得証明書」（発行できる最新年のもの）3か月以内に発行されたもの
- ⑦申請直近1年間分（令和3年10月～令和4年9月）の預金通帳の写
（※日本における1年間分の給与等収入・家賃・電気・ガス・水道・通信費等の支出額確認のため）
- ⑧在留カード（両面）（写）（もしくはパスポートの「顔写真・氏名」と「ビザの在留資格」の部分（写）と外国人登録証（写））
- ⑨92円分の切手（選考結果の送付を希望する住所/宛名(様を付けておく) /学部(研究科) /学籍番号を長3封筒に記入する。）
- ⑩アルバイトや本国からの送金がある場合は、「申請受付票」No.9、No.10の書類

※必ず「申請受付票」を確認のうえ、「申請受付票」上の該当する項目の書類をすべて提出してください。

※提出された書類は返却できませんので、必要な方は必ずコピーをとっておいてください。

記入要領

1. 記入は、黒の万年筆又は黒ボールペンを使用してください。鉛筆書きは受け付けません。
 2. 令和4年10月1日現在の状況（見込みを含む）を記入してください。
 3. 写しの提出が認められている書類については、A4サイズ用の紙にコピーしてください。拡大したり切り取ったりする必要はありません。A4サイズより小さい場合は、A4サイズの白い用紙に糊付けして大きさを揃えてください。
 4. 「家庭状況調書」（様式10-3）は、選考上の大切な資料となります。以下の事項に注意して正しく記入してください。
 - 太枠内は大学で使用する欄のため、何も記入しないでください。
 - 同居、別居、住民票上の世帯を問わず、申請者と「生計を同一にする者」全員について、「就学者を除く家族」と「就学者」に分けて記入してください。
 - 同居している人はすべて、原則「生計を同一にする者」に該当します。
 - 申請者本人が独立生計者の場合は、「生計を同一にする者」と父母等についても記入してください。
 - ※独立生計者とは、次のすべてに該当する方です。
 - ア. 所得税法上、父母等の扶養親族でない者
 - イ. 父母等と別居している者
 - ウ. 本人に収入があり、所得申告がなされている者
- (1) 「就学者を除く家族」欄
- 「年齢」欄は、令和4年10月1日現在で記入してください。
 - 「現在の職業」欄は、会社員、自営業、公務員、教員、主婦、家事手伝い、無職など、具体的に記入してください。
 - 「雇用形態」欄は、正社員、常勤、非正規、非常勤、パートなどを記入してください。
- (2) 「就学者（本人）」欄
- 申請者本人について、該当する数字を○で囲み、必要事項を記入してください。
- (3) 「就学者」欄
- 本人以外の就学者（休学中の者は除く）について記入してください。
 - 「在学学校」、「通学区分」欄は、該当する数字を○で囲んでください。
 - 国立学校および公立大学に在学している場合は、「前年度授業料免除結果」欄の該当する数字を○で囲んでください。
 - 予備校、各種学校、専修学校（一般課程）等に在学する者および休学者は、就学者に該当しないため「就学者を除く家族」欄に記入してください。
- (4) 「特別控除」欄
- 該当する項目がある場合は、該当項目の数字を○で囲み、必要事項を記入のうえ、「申請に必要な書類一覧」に記載されている書類を提出してください。

申請受付票

様式10-1

受付番号

申請日	令和 年 月 日	研究科	氏名	大学受付印
携帯電話番号	学籍番号(分からない場合受験番号)			

①②…と記載のあるものは全て提出する。/写しの提出が認められているものについては、A4用紙に向きを揃えてコピーするか貼付する。

全員（私費外国人留学生以外）提出するもの

※提出する書類の「本人チェック」欄に○を付けてください。

No	書 類	入 手 先	本人チェック	大学チェック
1	「申請受付票」（本票） 必要事項を記入する。	様式10-1		
2	「入学金免除願」 「入学金徴収猶予願」 日付は提出日を記入。授業料の納付が困難な家庭事情について申請者本人が具体的に記入する。	様式10-2		
3	「家庭状況調書」 令和4年10月現在の状況（見込み含む）を記入する。 太枠内は「大学使用欄」のため何も記入しないこと	様式10-3		
4	世帯全員分の「住民票謄本」 ※戸籍謄本ではないので注意	市区町村役場		
5	所得証明書（自治体によっては「課税証明書」） ※右注意事項を確認し、該当のものを取ること	市区町村役場		
6	92円分の切手を貼付した長3サイズの封筒1枚			
7	大学院生 「指導教員推薦調書」	様式10-4		
8	申請者本人に関する書類 自宅外通学者	様式10-16		
9	独立生計者 ※次のすべてに該当する者 ア. 所得税法上、父母等の扶養親族でない者 イ. 父母等と別居している者 ウ. 本人に収入があり、所得申告がなされている者			
10	会社等に勤務し、給与所得のある者（給与所得者）	勤務先		
11	給与所得者で令和3年1月2日以降に新たに就職した者 ※パートタイム等含む。	勤務先 様式10-12		
12	商・工・農・林・水産業、その他の事業所得者および 利子・配当・不動産・雑所得のある者	税務署 市区町村役場		
13	同族会社等で給与収入の形態をとっている者	経営 主体者		
14	農業者戸別所得補償制度に基づく交付を受けている者	市区町村役場		
15	年金または恩給受給者（傷病手当等も含む）	書類欄 に掲載		
16	養育費等の援助がある場合	様式10-3		
17	各種手当受給者（児童扶養手当等）	市区町村役場		
18	令和3年10月～令和4年9月に 臨時的な所得を得た者	勤務先 保険会社等		

【裏面に続く】

No	該当者	必要な書類	入手先	本人 チェック	大学 使用
19	令和3年1月1日～令和4年の申請受付期間最終日までに退職した者および退職を予定している者 ※パートタイム等含む。	退職および退職金支払い証明書（様式10-14）（写しの提出可） ※会社名、退職の時期、退職金の有無、退職金有の場合は受取金額と支払年月日が確認できる書面（写）があれば、退職および退職金支払い証明書の代わりに提出可 ※これらの書類が用意できない場合（すでに会社がなくなっている等）は、「退職申立書」（様式10-17）を大学から受け取り作成すること。 ※年金の受給を予定している場合は、年金見込み証明書をあわせて提出。 ※失業保険給付（失業手当）を受給している場合は、雇用保険受給資格者証（両面の写）（氏名および受給額が分かるもの）をあわせて提出。	勤務先 様式10-14		
21	無職・無収入の者 ※休学中の者も含む。	「無職・無収入申立書」（就学者を除く18歳以上65歳未満の者） （どちらか一方に該当する場合は提出が必要です。）	様式10-5		
22	世帯の住民票に記載されているが、添付書類から別生計であることが確認できる者	例：兄弟姉妹が就職して実家を離れた場合、祖父母世帯と公共料金のメーターを分けて管理している場合 「別生計申立書」（住所・氏名が記載されている公共料金（電気、ガス、水道）の領収書（写）等を添付）	様式10-6		
23	自宅外通学をしている就学者	現住所と氏名が確認できる公共料金の領収書（写）または郵便物の宛名面（写）、なければアパート等の賃貸契約書（写）等のいずれかで、なるべく新しいものを添付する。	様式10-16		
24	国立の高等学校以上および公立大学に在学している者	「授業料免除実施状況及び在学証明書」 ※在学に証明を依頼する。宇都宮大学生の場合は証明は不要。	様式10-7		
25	専修・専門学校・私立大学に在学している者	在学証明書	在学 学校		
26	母子・父子世帯等	「母子・父子世帯等申立書」	様式10-8		
27	生活保護世帯	保護決定通知書、生活保護受給証明書など受給額が分かるもの	社会福祉 事務所		
28	障害者がいる世帯	障害者手帳（写）、戦傷病者手帳（写）など	市区町村 役場		
29	長期療養者がいる世帯（6か月以上療養中の者・6か月以上の療養を必要とする者）	・「長期療養者証明書」（様式10-9：病院） ・生命保険、医療保険等から補てんされた金額の証明書（入手先：保険会社等） ・高額療養費制度等の公的医療保険（健康保険、共済組合等）から補てんされた金額の証明書（入手先：勤務先等の公的医療保険取扱先）	様式10-9 保険会社 勤務先等		
30	主たる家計支持者が別居している世帯（単身赴任等）	特別に支出している居住費、光熱水道費の本人支出額を証明できるもの ※会社負担や住居手当等で充当されている分については控除対象外。 ※自己都合による別居は対象外。	様式10-15		
31	火災、自然災害、盗難等の被害を受けた世帯	被害を受けた年月日や被害の程度が分かる罹災証明書、被災証明書、損害額算定書など 保険、損害賠償等による補てん額があれば、それを証明するもの （入手先：市区町村役場・消防署・警察署）	書類欄 に掲載		
32	学資負担者が死亡したことにより申請する場合	当該学資負担者の住民票除票	市区町村 役場		

私費外国人留学生は原則として以下の書類のみ（配偶者がいる場合は、配偶者のNo. 6～10の書類も提出してください。）

No	必要な書類	入手先	本人 チェック	大学 チェック
1 全員	「申請受付票」（本票）	必要事項を記入し、提出する書類の「本人チェック」欄に○を付ける。	様式10-1	
2 全員	「入学料免除願」 「入学料徴収猶予願」	日付は提出日を記入。該当する申請理由の数字を○で囲み、授業料の納付が困難な家庭事情について申請者本人が具体的に記入する。	様式10-2	
3 全員	「家庭状況調書」	記入にあたっては申請要項を参照のこと。 太枠内は記入しない。	様式10-3	
4 大学院	「指導教員推薦調書」（大学院生のみ）		様式10-4	
5 全員	「経済・生活状況申告書」		様式10-10	
6 全員	市区町村発行の「所得証明書」（最新のもの）		市区町村 役場	
7 全員	日本における申請直近1年間分（令和3年10月～令和4年9月）の預金通帳（※口座名義の記載されたページ及び給与の振込、家賃・電気・ガス・水道・通信費等の支出が分かるもの）（写）※該当部分に印をして、それぞれの区別がつくようにすること。※光熱費等が現金払いの場合は、支払いを確認できる領収書（写）をA4サイズの用紙に添付して提出すること。）			
8 全員	在留カード（両面）（写） （もしくはパスポートの「顔写真・氏名」と「ビザの在留資格」の部分（写）と外国人登録証（写））			
9 該当者	1年間のアルバイト代が分かる書類（給与明細、通帳の明細等）、なければアルバイト実施状況証明書 ※アルバイトではなく定職収入がある場合は、源泉徴収票を提出すること		様式10-11	
10 該当者	1年間の本国の親族等からの送金額が分かる書類※ 送金を受けた部分に印をして、説明（学費分、引越越し費用、生活費など）を付けること			
11 全員	92円分の切手を貼付した長3サイズの封筒1枚	選考結果の送付を希望する住所/宛名（ 様を付けておく ）/学部（研究科）/学籍番号を封筒に記入する。		

大学 不足書類※ 再提出 再々提出 受付完了 担当者 連絡事項
有・無 / / /

宇都宮大学大学院

 入学料免除願
 入学料徴収猶予願

(申請する項目の□にし点を記入してください。記入がない場合は、免除と猶予の併願として取り扱わせていただきます。)

宇都宮大学長 殿

令和4年 月 日

申請者	所属	令和4年10月 入学	受験番号		
			旧学籍番号 (本学出身者のみ)		
		学研究科	専攻・専修	年	
		指導教員名 ()			
氏名 (本人署名)		印	メールアドレス		
			電話番号	—	—
現住所	〒				
父母等	氏名 (本人署名)	印	続柄		
			電話番号	—	—
住所	〒				

下記の理由により入学料の納付が困難なため、入学料の免除・徴収猶予(申請する項目を○で囲んでください。)を申請いたします。また、選考結果が決定されるまでの間は、入学料の徴収を猶予くださるよう併せてお願いいたします。

なお、選考の結果が全額免除以外の場合は、定められた期日までに所定の額を納付いたします。

記

申請理由

該当する申請理由の数字を○で囲み、必要事項を記入してください。

1. 経済的理由
2. 学資負担者の死亡(続柄: 年月日: 年 月 日)
3. 風水害等の罹災(内容: 年月日: 年 月 日)

家庭事情 納付が困難な家庭事情およびその他説明を要することを、申請者本人が具体的に記入してください。

※以下について、確認の上チェックすること

不足書類はありません。(不足書類がある場合は、裏面に記入すること)

必要な場合に、指導教員に入学料申請状況等について情報を提供することに同意します。

(裏面に続く→)

◎ 不足書類がある場合は、以下について記入してください。

申請時に提出できない書類

-
-
-
-
-

提出時期の目安

月 日頃

※遅くとも10/7（金）までに、原則として窓口に出してください。

学籍番号		所属		学部 研究科	氏名				
(決まっていない場合は、受験番号)									
続柄	氏名	年齢	現在の職業	就業年月日 (現在の勤務先・職業)	雇用 形態	給与収入 税込(千円)	給与以外 税込(千円)	非課税	課税
本人			学生						

※以下、私費外国人留学生の場合は日本で同居している家族のみを記入。

就学者を除く家族	父				年 月～				
	母				年 月～				
					年 月～				
					年 月～				
					年 月～				

※該当に○を付ける。 養育費等の援助 (有 月 円・無) 遺族年金 (有・無) 障害年金 (有・無)

本人を除く就学者(休学者除く)	続柄	氏名	在学学校 ※該当に○を付ける。	学年 年齢	通学区分	前年度授業料免除結果 (様式10-7提出者)		授業料年額 千円	
		宇都宮大学の場合は学籍番号	設置 区分	学校区分		前期	後期		
		宇都宮大学の場合は学籍番号	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1小 2中 3高校 4大学・院 5高専 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程)	年 才	1. 自宅 2. 自宅外	1. 無 2. 全額 3. 半額 4. 一部		1. 無 2. 全額 3. 半額 4. 一部
		宇都宮大学の場合は学籍番号	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1小 2中 3高校 4大学・院 5高専 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程)	年 才	1. 自宅 2. 自宅外	1. 無 2. 全額 3. 半額 4. 一部		1. 無 2. 全額 3. 半額 4. 一部

※自宅外通学者は様式10-16を提出する。 ※在学証明書や様式10-7が必要な学校があるので、申請受付票で確認すること。

収入状況		本人 (千円)	父 (千円)	母 (千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
給与等	給与・専従者給与・役員報酬等							
	年金・恩給							
	雇用保険・生活扶助・手当等							
	その他							
計								
給与外所得	自営業(商・工・農林・水産)							
	家賃・地代・配当・利子・内職							
	退職金・保険金・臨時所得							
	その他							
計								

本人について	通学区分	1. 自宅 2. 自宅外	奨学金 受給状況 (月額)	1. 日本学生支援機構(貸与) 一種・二種 2. 修学支援新制度 学部生のみ(申込済み・申込予定) 区分 I・II・III 3. 日本学生支援機構(学習奨励費) _____千円/月 ※留学生 4. その他() 貸与・給付 _____千円/月 5. その他() 貸与・給付 _____千円/月				奨学金 貸与 千円
	アルバイト	1. 有(業種) 2. 無						給付 千円
	過去の授業料 免除状況	令和3年度後期 令和4年度前期	1. 申請無	2. 全額免除	3. 半額免除	4. 不許可		
	申請者が大学院1年生である場合 卒業大学		1. 日本国外の大学 2. 日本国内の大学()				国内卒業 成績表 有・無	
特別 控 除	控除を受けるには、 証明書の提出が必要。	母子・父子世帯	1. 父または母と18歳未満の子(18歳以上の就学者を含む)のみの世帯 2. 父または母及び60歳以上の祖父母と18歳未満の子(18歳以上の就学者を含む)のみの世帯 3. 18歳未満の子の世帯 4. 祖父母と18歳未満の子の世帯 5. その他				1. 該当 2. なし	
		障害者がある 世帯	氏名	手帳番号	身体・精神・知的障害 ・ 公害疾病 ・ 原爆被爆(障害 有 ・ 無)		人	
			氏名	手帳番号	身体・精神・知的障害 ・ 公害疾病 ・ 原爆被爆(障害 有 ・ 無)			
		長期療養者が いる世帯	氏名	1か月平均の治療費 _____千円	療養期間 年 月から 入院 ・ 通院 ・ 自宅就床 ・ 要介護(3~5)			合計(年額)
			氏名	1か月平均の治療費 _____千円	療養期間 年 月から 入院 ・ 通院 ・ 自宅就床 ・ 要介護(3~5)			
学資負担者別居	1か月当たりの住居・光熱水料 _____千円					千円		
風水害等の災害 を受けた世帯	被害内容 _____ 罹災年月日平成 年 月 日 被害の程度: _____					千円		

大学 使用欄	申請 区分	1. 特別事情(死亡・災害・その他) 2. 経済的理由	住民税所得割 非課税世帯	家族数	入試成績	学力基準 可 不可	成績年度	家計基準 全 半 不	総合判定 全 免 半 免 不 許可
	独立生計 ・ 生活保護 ・ 給付型奨学金 ・ 社会的養護			人		緩和(可・不可)			

記入例

家庭状況調書

※太枠内は記入しないこと

様式10-3

学籍番号 または受験番号		研究科				氏名				
続柄	氏名	年齢	現在の職業	就業年月日 (現在の勤務先・職業)	雇用 形態	給与収入 税込(千円)	給与以外 税込(千円)	非課税	課税	
本人	宇都宮 三郎		学生	年 月~						
就学者を除く家族	父	宇都宮 太郎	50	会社員	平成 7年 4月~	正社員				
	母	宇都宮 一代	49	会社員	平成 10年 11月~	パート				
	<p>「就学者を除く家族」については、所得証明書の提出が必要。 予備校生、休学者は「就学者を除く家族」に記入</p>				年 月~					
※該当に○を付ける。 遺族年金 (有・無) 障害年金 (有・無) 養育費等の援助 (有・無)										
本人を除く就学者(休学者除く)	続柄	氏名	設置 区分	学校区分	学年 年齢	通学区分	前年度授業料免除結果 (様式10-7提出者)		授業料年額	
	兄	宇都宮 次郎	1. 国立	1小 2中 3高校	年	1. 自宅	1. 無	1. 無	千円	
			2. 公立	4大学・院 5高専	オ	2. 自宅外	2. 全額	2. 全額		
			3. 私立	6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程)	オ		3. 半額	3. 半額		
<p>国立の高等学校以上および公立大学に在学している者は、様式10-7の提出が必要。 専修・専門学校、私立大学に在学している者は、在学証明書が必要。</p> <p>自宅外通学者は、様式10-16の提出が必要。</p>										
※自宅外通学者は様式10-16を提出する。 ※在学証明書や様式10-7が必要な学校があるので、申請受付票で確認すること。										
令和3年の収入状況		本人 (千円)	父 (千円)	母 (千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
給与収入	給与・専従者給与・役員報酬等									
	年金・恩給									
	雇用保険・生活扶助・手当等									
	その他									
計										
給与収入以外	自営業(商・工・農林・水産)									
	家賃・地代・配当・利子・内職									
	退職金・保険金・臨時所得									
	その他									
計										
本人について	通学区分	1. 自宅 2. 自宅外	奨学金 受給状況 (月額)	1. 日本学生支援機構(貸与) 一種 51千円/月 二種 千円/月 2. 日本学生支援機構(給付) 自宅 千円/月 自宅外 千円/月 3. 日本学生支援機構(学習奨励費) 千円/月 ※留学生 4. その他() 貸与・給付 千円/月 5. その他() 貸与・給付 千円/月		奨学金 貸与 千円 給付 千円				
	過去の授業料免除状況	令和3年度後期 1. 申請無 2. 全額免除 3. 半額免除 4. 不許可 令和4年度前期 1. 申請無 2. 全額免除 3. 半額免除 4. 不許可								
	申請者が大学院1年生である場合卒業大学	1. 日本国外の大学 2. 日本国内の大学()				国内卒業 成績表 有・無				
	特別控除	母子・父子世帯	1. 父または母と18歳未満の子(18歳以上の就学者を含む)のみの世帯 2. 父または母および60歳以上の祖父母と18歳未満の子(18歳以上の就学者を含む)のみの世帯 3. 18歳未満の子の世帯 4. 祖父母と18歳未満の子の世帯 5. その他			1. 該当 2. なし				
控除	障害者がいる世帯	氏名 手帳番号 身体,精神,知的障害・公害疾病・原爆被爆(障害 有・無)	氏名 手帳番号 身体,精神,知的障害・公害疾病・原爆被爆(障害 有・無)		人					
	長期療養者がいる世帯	氏名 1か月平均の治療費 千円 療養期間 年 月から 入院・通院・自宅就床・要介護(3~5)	氏名 1か月平均の治療費 千円 療養期間 年 月から 入院・通院・自宅就床・要介護(3~5)		合計(年額) 千円					
	学資負担者別居	1か月当たりの住居・光熱水料 千円			千円					
	風水害等の災害を受けた世帯	被害内容 罹災年月日 年 月 日 被害の程度			千円					
大学 使用欄	申請 区分	1. 特別事情(死亡・災害・その他) 2. 経済的理由		住民税所得割 非課税世帯	家族数	入試成績	学力基準	成績年度	家計基準	総合判定
	独立生計・生活保護・給付型奨学金・社会的養護			人			可 不可	緩和	全 半 不	全 免 半 不 許 可

指導教員推薦調書 (大学院生)

指導教員所見 (特記事項があればご記入ください。)

.....
.....
.....
.....

令和 年 月 日

指導教員 署名

印

(※2022年度は、指導教員との本件に関するメールのやり取りのコピーを添付することで代えられます。)

免除・徴収猶予申請者記入欄 (記入後、指導教員に署名・押印を願い出てください。)

宇都宮大学大学院

研究科

専攻

年

氏 名

1. 研究テーマ

.....
.....
.....

2. 目的

.....
.....
.....

3. これまでの成果

.....
.....
.....
.....
.....

4. 今後の計画

.....
.....
.....
.....
.....

無職・無収入申立書

令和 年 月 日

宇都宮大学長 殿

申立人氏名

申請者との続柄

生年月日 年 月 日 (歳)

申請者：学籍番号 (新入生は受験番号)

氏名

私は、下記のとおり無職・無収入であることを申し立てます。

記

1. 理由

無職となった年月 (年 月) 就職見込みの有無 (有 無)

2. 前職の有無 (2021年1月1日以降に退職した場合は、申請受付票 NO19を参照し、必要書類を提出してください)

- 有 (前勤務先：)
- 無 (在職期間： 年 月 日 ~ 年 月 日)

3. 退職金の有無

- 有 (申請前6か月間に支払いを受けた場合は、申請受付票NO18を参照し、支払額・支払時期が分かるものを添付してください。)
- 無

4. 年金の有無

- 有 (受給額が分かるものを添付してください。) 無

5. 失業保険の有無

- 有 (受給額が分かるものを添付してください。) 無

6. その他生活費の出所 (貯金、配偶者の収入等具体的に記入してください。)

別生計申立書

※住民票に記載があるが、実家から独立した兄弟姉妹等が該当。
※自宅外通学をしている就学者の兄弟姉妹は様式 10-16 を提出。

令和 年 月 日

宇都宮大学長 殿

申立人氏名 _____

申請者との続柄 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ 歳)

(申請者：学籍番号 (新入生は受験番号)
氏名)

私は、下記のとおり申請者とは別生計であることを申し立てます。

記

1. 理 由 例:就職して実家から離れ、独立して生計を立てるようになったため。

2. 住 所

住民票記載の住所 :
現 住 所 :

※ 現住所と氏名が記載されている直近の公共料金の領収書 (写) 等を添付。
(郵便物や契約書の写しで、住所・氏名が読み取れる部分でも可)

授業料免除等事務担当者 殿

在学学校名 _____
 所属学部 _____ 年
 学籍番号 _____
 氏 名 _____

(宇都宮大学生の兄弟姉妹等の名)

このたび、宇都宮大学 (_____) ※学部・研究科 に在学する私の兄弟姉妹
 (宇都宮大学生氏名 _____ 学籍番号 _____) が授業料免除・徴収
 猶予を申請するにあたり、私の授業料免除実施状況について下記により証明いただきますよう
 お願いいたします。(※の部分、所属学部・研究科を○で囲んでください。)

授業料免除実施状況及び在学証明書

1. 入学年度 _____ 年 _____ 月 入学 編入学
2. 学校の設置者 国立大学法人 国立高等専門学校機構 その他 (_____)
3. 通学区分 自宅 自宅外
4. 授業料年額 _____ 円
5. 授業料免除の有無と実施状況

令和3年度授業料免除実施状況		
	<input type="checkbox"/> 令和4年度入学のため該当なし なお、令和4年度大学院入学者で当該大学からの進学者は、 以下についても証明願います。	
前期	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> その他 (_____) <input type="checkbox"/> 不許可 <input type="checkbox"/> 申請なし <input type="checkbox"/> 給付型奨学金による免除 <input type="checkbox"/> 第Ⅰ区分 <input type="checkbox"/> 第Ⅱ区分 <input type="checkbox"/> 第Ⅲ区分	免除額 _____ 円
後期	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> その他 (_____) <input type="checkbox"/> 不許可 <input type="checkbox"/> 申請なし <input type="checkbox"/> 給付型奨学金による免除 <input type="checkbox"/> 第Ⅰ区分 <input type="checkbox"/> 第Ⅱ区分 <input type="checkbox"/> 第Ⅲ区分	免除額 _____ 円

(該当する項目にチェックし、必要事項をご記入ください。※大学独自で1/3免除+第Ⅱ区分の場合複数チェックをいれてください。免除額は合算したものでお願いします)

上記のとおり証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学校名 _____

担当課・係名 _____

担当者氏名 _____ 印(担当者)

※令和4年4月1日以降も在学する者について証明をお願いいたします。(記入時点での予定で構いません)

※不明な点がございましたら、宇都宮大学学生支援課奨学支援係(電話028-649-5102)までお問い合わせください。

母子・父子世帯等申立書

令和 年 月 日

宇都宮大学長 殿

学籍番号 (新入生は受験番号) _____

氏 名 _____

入学料免除・徴収猶予を申請するにあたり、下記のとおり申し立てます。

記

該当するか確認の上、口にシ点を付けてください。

<input type="checkbox"/>	父または母と18歳未満の子（18歳以上の就学者および長期に療養を要する、心身に障害がある等で経済力のない者も18歳未満の子として扱う。以下同じ。）のみの世帯
<input type="checkbox"/>	父または母および60歳以上の祖父母（祖父または祖母のみの場合を含む。）と18歳未満の子の世帯であって、祖父母に経済力がなく（前年の所得金額が50万円以下。以下同じ。）父または母が扶養している世帯
<input type="checkbox"/>	18歳未満の子の世帯
<input type="checkbox"/>	祖父母と18歳未満の子の世帯
<input type="checkbox"/>	配偶者のいない兄弟と18歳未満の子の世帯
<input type="checkbox"/>	配偶者のいない兄弟と18歳未満の子および60歳以上で経済力のない祖父母の世帯

受給のない場合も、該当する口にシ点を付けてください。

1. 離別の場合

父または母より養育費等の援助の有無

 有

(続柄) (氏名) より (月額) 円の援助がある。

 無

2. 死別の場合

遺族年金および保険金受給の有無

 有 (受給額が分かるものを添付してください。) 無

3. 児童扶養手当受給の有無 ※「児童手当」とは別です。

 有 (受給額が分かるものを添付してください。) 無

4. 祖父母等からの援助およびその他援助の有無

 有

(続柄) (氏名) より (月額) 円の援助がある。

 無

長期療養者証明書

※医療機関で証明を受けてください。

令和 年 月 日

(医療機関名)

殿

申請者 住 所 _____

氏 名 _____ 印 _____
(学籍番号)

宇都宮大学の入学料免除・徴収猶予を申請するにあたり、下記事項について証明願います。

記

療養者名	申請者との続柄：	
傷病名		
診 療	初診： 年 月 日	向後要療養： 年 月 ごろまで
本人負担額	円	※1年間分(2021.10.1~2022.9.31)
<p>上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p style="text-align: right;">令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">医療機関名</p> <p style="text-align: center;">医 師 名 _____ 印 _____</p> <p style="text-align: center;">(※医療機関の会計担当者も可)</p>		

1. 申請時現在において、6か月以上にわたる期間療養中の者、または療養を必要と認められる者について証明願います。
2. 「本人負担額」の欄は、①診察料、②入院料、③医薬品代等の本人が負担した合計額を記入してください。
3. 健康保険等によって医療給付(高額療養費等)を受ける金額および損害賠償等によって補てんされる金額は除いてください。

経済・生活状況申告書

(私費外国人留学生・独立生計者)

学籍番号 (新入生は受験番号)

氏名

1. 日本国内における収入および支出について (令和3(2021)年10月1日～令和4(2022)年9月30日) ※令和4年10月1日以降来日の方は、アパートの契約書等を基に見込額を記載してください。

(1) 収入 (月平均)		(2) 支出 (月平均)	
奨学金	円	食費	円
本国(親族)からの送金	円	住居費	円
アルバイト	円	光熱水道費	円
預貯金から	円	通信費	円
保証人等の援助	円	日用品	円
配偶者の収入	円	修学費 (授業料以外)	円
その他	円	その他	円
計	円	計	円

2. 奨学金の受給状況について (令和4(2022)年10月現在の状況)

- (1) 奨学団体の名称 ()
 (2) 給与・貸与の期間 (年 月 ~ 年 月)
 (3) 給与・貸与の金額 (月額 円)
 (参考) 昨年度受給していた奨学金 名称 () 月額 (円)

3. 本国(親族)からの仕送りについて

1 か月あたりの平均 (円) 手渡し・振込・その他 (○を付ける)

4. アルバイトの状況について

現在アルバイトをしている・探している・アルバイトはしない (○を付ける)

- ① (場所) (月 時間程度) (時給 円)
 ② (場所) (月 時間程度) (時給 円)
 ③ (場所) (月 時間程度) (時給 円)

5. その他の収入について (例: 日本国内の保証人等からの援助)

6. 住居について (○を付ける)

下宿・アパート・その他 () 同居者 あり・なし

7. 経済生活の実情について

8. 指導教員所見 (主として生活状況について特記事項があればご記入ください。) (私費外国人留学生のみ)

令和 年 月 日 指導教員氏名 印

※印は指導教員とやりとりをおこなったメールで可

アルバイト実施状況（見込み）証明書

※独立生計者、私費外国人留学生対象

宇都宮大学の入学料免除・徴収猶予を申請するにあたり、アルバイト収入額の証明が必要です。

支払いを受ける者	住所	職 種	家庭教師・飲食・販売 その他（ ）
		学部・ 研究科等	
		学 年	
		学籍番号	
		氏 名	
アルバイトを始めた時期		年	月～
直近3カ月分の状況(新しく始まったアルバイトの場合は見込み)			
		年	月 円
		年	月 円
		年	月 円
計			円
支払方法 該当に○を付ける。		銀行振込 ・ 手渡し	
支払者 証明欄	連絡先	会社名 雇用者氏名 住所 (電話)	印

アルバイト先の証明を受けてください。証明印は会社印（支店又は営業所印でも可）でお願いします（会社印がない場合等は、勤務管理担当者の署名・押印に代えて頂いても可）。
※提出する他の申請書類（通帳の写しや給与明細等）から確認できる場合は、本様式は不要です。

年収見込証明書

入学料免除・徴収猶予申請をするにあたり、令和3年1月2日以降に就職し、現在も勤務している勤務先があれば証明を受けてください。

氏名		
住所	〒 ー	
入社日	年 月 日	
給与支給月額（見込み） ※少なくとも、直近3か月分の支給実績を反映させてください。 (円)	1月 _____ 2月 _____ 3月 _____ 4月 _____ 5月 _____ 6月 _____	7月 _____ 8月 _____ 9月 _____ 10月 _____ 11月 _____ 12月 _____ 合 計 _____
賞与（見込み） (円)	_____ (月) _____ (月) _____ (月)	合 計 _____
<p>上記のとおり証明します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>会 社 名 _____ 印</p> <p>所 在 地 _____</p> <p>電 話 番 号 _____</p> <p>担 当 者 _____</p>		

※記入上の注意

○給与支給月額については、非課税の通勤手当を除く全ての支給額を記入してください。

○給与の支給実績がない場合は、支給予定額を記入してください。

○証明印は会社印（支店又は営業所印でも可）をお願いします。

なお、不明な点がありましたら下記までお問い合わせください。

宇都宮大学学務部学生支援課 電話 028-649-5102

主たる家計支持者が別居している世帯（単身赴任等を含む）

令和 年 月 日

宇都宮大学長 殿

申立人氏名

申請者との続柄

生年月日 年 月 日（ 歳）

申請者：学籍番号（新入生は受験番号）

氏名

私は、申請者家族とは生計を一にしていますが、別居していることを申し立てます。

記

1. 理由

2. 住所

住民票記載の住所 :
現住所 :

3. 特別に支出している居住費、光熱水道費の本人負担額

1カ月分の本人負担額： _____円 (支払金額 _____円 一補てん額（事業費（経費）、会社負担額、住居手当等）： _____円)

4. 上記3. の本人負担額を証明できる書類（写）添付欄

自己申告は認められない。

※ 証明書類には、現住所、氏名が記載されていること。

※ 単身赴任の場合は給与明細も添付。

自宅外通学をしている就学者

※本人、兄弟姉妹等

令和 年 月 日

宇都宮大学長 殿

申立人氏名

申請者との続柄

生年月日 年 月 日 (歳)

申請者：学籍番号 (新入生は受験番号)

氏名

私は、下記添付書類のとおり、現在自宅外通学をしています。

記

1. 住 所

住民票記載の住所 :

現 住 所 :

現住所と学生氏名が確認できる書類を添付してください。

(実際にその場所で生活していることが分かる書類)

例：直近の公共料金の領収書 (写)、郵便物の写し、寮費の明細

引っ越して間もない場合は、アパート等の賃貸契約書 (写) の添付でも可。